

令和7年東御市議会9月定例会 招集あいさつ

(令和7年8月29日 午前9時開会)

1 はじめに

夏も終盤を迎え、猛暑の中にも朝夕は涼しさを感じる季節となりました。

本日ここに、令和7年東御市議会9月定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては何かとご多用の中ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

2 諸般の情勢

この夏は、梅雨の期間中から気温が上昇し、全国各地で熱中症警戒アラートが頻繁に発出され、国内の観測史上最高気温を何度も更新するなど、災害級とも言われる猛烈な暑さとなりました。

また、8月10日から11日にかけて九州など広い範囲に記録的な大雨が降り、土砂崩れや河川の氾濫といった災害が相次ぎ、今なお復旧作業が続いております。

災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

これから本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、市といたしましても、気象情報等を注視しながら、災害に対する万全な体制を取ってまいります。

7月20日に第27回参議院議員選挙が行われ、与党は大幅に議席を減らす歴史的な大敗となりました。

国政においては衆議院に続き参議院でも、過半数の維持ができず少数与党となり、政権運営は一段と不安定な状態となると予想されます。急速に進む少子・高齢化や人口減少、物価上昇、社会

保障費の増大、激甚化・頻発化する自然災害など課題は山積しており、今後の政局運営によっては我々地方自治体も大きな影響を受けるものと考えられます。

国政を停滞させることなく、課題解決のため実効性のある政策形成に向けて、最大限の取り組みを期待するところであります。

7月23日にはアメリカ側が25%と主張していた日本に対する相互関税いわゆるトランプ関税が、15%に引き下げられました。しかし、これまでの関税と比べると、依然として高水準であり日本経済への影響が懸念されるところであります。

一方、内閣府が発表した4月から6月の国内総生産（GDP）の速報値では、物価変動の影響を除く実質で前期比0.3%増、このペースが1年続くと仮定した年率換算は1.0%増となりました。

堅調な企業業績を背景に、設備投資が好調で5四半期連続のプラス成長となりましたが、長引く物価高により個人消費は伸び悩んでおります。

不安定で見通しのきかない日本経済が今日より明日は良くなると実感できる「人口減少下における持続可能な経済社会の構築」のための国の施策展開を注視するとともに、市といたしましては日々の経済状況を見極めながら、より良い未来を拓くため、必要な施策を推進してまいります。

それでは、これまでの本市の動きの中の主な行事や、活動について申し上げます。

（うんのわりリニューアル・オープン）

7月9日、海野宿滞在型交流施設「うんのわ」がリニューアル・オープンしました。市と信州とうみ観光協会の共催によるオ

オープンセレモニーには、報道関係者を含め約40名の方に参加していただき、改修概要の説明や施設の内覧に加え、地元食材を使った試食の提供などを行い、「うんのわ」の新たな魅力を広く発信する機会となりました。

今後は多くの皆様に宿泊、食事等で利用していただけるように、積極的にプロモーション活動を行ってまいります。

(2025雷電まつり～東御どすこいSUNSUN～)

8月2日、田中商店街において「雷電まつり」を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、昼の部は、白馬村出身のタレント国本梨紗さんのスペシャルトークショー、大相撲の八角部屋から元小結 北勝富士関の大山親方のほか3名の力士を招いた「子ども相撲大会」や、「雷電マルシェ」、「はたらくクルマ大集合!」、スポーツ団体を招いたイベントなど、子供達を中心に大いに賑わいました。

夜の部の踊りには、区や地元企業など37連、約2,200名の皆様の参加をいただき、会場は大きな掛け声と踊り手の熱気に包まれ、沿道の方も含め多くの方が祭りを楽しまれていました。

来年も更に大勢の皆様方に、ご参加いただけることを期待しております。

(国民スポーツ大会キックオフイベント)

7月16日、令和10年の国民スポーツ大会の長野県開催が正式に決定されました。この大会は「信州やまなみ国スポ」の愛称で呼ばれ、本市では「ボクシング」と「ハンドボール」の試合が行われます。

8月9日には、市民の皆様々に大会を身近に感じていただくため

の、「キックオフイベント」を開催し、「ボクシング」や「ハンドボール」にちなんだスポーツメニューを中心に、多彩なスポーツ種目を実施し、約100名の参加者に楽しんでいただきました。

本市での「信州やまなみ国スポ」の開催を機に、より多くの方がスポーツに親しみ、健康増進や体力向上が図られるとともに、大会成功に向けて着実に準備を進めてまいります。

(平和祈念式)

「終戦の日」の8月15日、議員各位をはじめ関係の皆様のご出席のもと平和祈念式が開催され、恒久平和への誓いと、戦没者への追悼を行いました。

式典では東部中学校の生徒が作文を朗読し、「先の大戦や現在の世界各地における戦争や内戦について知ることにより、当たり前の日常を当たり前で過ごせることこそが、平和である」「そのためには、思いやりの心が大切であり、平和は身近なところから自分たちによって作りだせるものである」と発表してくれました。

戦後80年を迎え、改めて「平和と人権を守る都市宣言」の理念の下、非核、平和、不戦の誓いととも、希望に満ちた平和な東御市を築くことを決意いたしました。

(二十歳を祝う会)

8月15日、「二十歳を祝う会」が開催されました。

当日は、203名が出席する中、実行委員長と代表者2名からは、「コロナ禍の中学時代を支えて頂いた多くの方への謝意」をはじめ、「故郷とうみへの思い」、「今後の人生に向けた決意や抱負」などを発表していただきました。

また、会場では、恩師や友人との懐かしい再会に歓喜の声が湧

きあがり、微笑ましい光景が広がっていました。

これからの人生が実り豊かで充実したものになることを心よりお祈りするとともに、本市が若者からも選ばれる魅力あふれるふるさとであるよう持続的発展に向けた取り組みを推進してまいります。

3 提案議案の説明

それでは、本定例会に提案いたします議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

(1) 令和6年度決算

まず、議案第48号から議案第54号まで、令和6年度の各会計の決算について申し上げます。

令和6年度の東御市一般会計でございますが、法人市民税は、県内の生産動向が持ち直しつつあることから増収となったほか、固定資産税につきましても、新增築家屋や償却資産の設備投資が増加となるなか、個人市民税においては、定額減税の影響により収入額が減少したことから、市税全体では前年度と比べ0.9%の減収となりました。

景気は、緩やかに回復しているものの、物価高騰に伴う需用費の増加等、厳しい状況が続くなかで、財政健全化に努めつつ、市民満足度の高い行政サービスへの重点配分に心掛け、事業を実施いたしました。

また、令和5年度からの繰越事業につきましては、農業用施設耐震・長寿命化事業、御堂地区ワイン振興施設整備事業のほか、地域ケーブルテレビネットワーク整備事業などを実施いたしました。

各特別会計、公営企業会計におきましても、概ね順調な事業運営がなされました。

各会計の詳細な決算状況につきましては、後ほど副市長及び担当部長等から申し上げますので、私からは一般会計決算につきまして、その概要を申し上げます。

令和6年度一般会計の歳入決算額は、178億378万2,000円で、前年度に対し4億8,176万9,000円、率にして2.8%の増となり、また、歳出決算額は、170億5,798万6,000円で、前年度に対し3億9,655万1,000円、率にして2.4%の増となりました。

歳入歳出の差引額は、7億4,579万6,000円で、令和7年度への繰越明許費の繰越財源を除いた実質収支は6億9,251万2,000円の黒字決算となりました。このうち、3億4,626万円を地方自治法等の規定により、財政調整基金へ繰り入れることといたしました。

一般会計の市債残高につきましては、令和6年度に新たに6億4,374万3,000円を借り入れる一方、17億9,584万1,000円を返済したことから、年度末の起債現在高は、148億9,500万7,000円となり、前年度から11億5,209万8,000円の減となりました。

また、基金残高は37億8,624万7,000円で、前年度に比べ6億4,339万9,000円の減となりました。

なお、健全化判断比率及び資金不足比率につきましては、後ほどその詳細をご報告いたしますが、5つの指標とも国の基準以内であり、概ね良好な状況でございます。

(2) 令和7年度補正予算

次に、議案第55号から議案第58号までの4件は、「一般会計」及び特別会計に係る補正予算でございます。

はじめに、議案第55号「令和7年度一般会計補正予算（第2号）」につきましては、歳入歳出予算にそれぞれ3億8,607万円を増額するものでございます。

主な内容としましては、体育施設照明LED化改修工事費、東部地区小学校給食センター建設に係る造成工事費及び、生活保護費などの増額をお願いするものでございます。

次に、議案第56号「令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」及び、議案第58号「令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」につきましては、システム改修費用の増額補正をお願いするものでございます。

次に、議案第57号「令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）」につきましては、過年度介護保険給付費精算金の確定に伴う増額補正等をお願いするものでございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から説明を申し上げます。

(3) 条例の新設及び一部改正

続きまして、条例の議案についてご説明申し上げます。

議案第59号につきましては、児童福祉法に基づき乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるため条例を新設するものでございます。

次に、議案第60号及び第61号につきましては、いずれも既存

条例の一部改正でございます。

詳細につきましては、担当部長から説明を申し上げます。

本定例会に提案します議案の概要は、以上のとおりでございます。

いずれも重要な案件でございますので、よろしくご審議をいただき、認定及びご決定を賜りますようお願い申し上げます。

4 むすびに

7月11日から8月3日まで「世界水泳シンガポール2025」が開催され、GMOアスリートパーク湯の丸でトレーニング合宿を行った日本代表選手たちが素晴らしい活躍を見せてくれました。

オープンウォータースイミングで日本初の金メダルと銅メダルを獲得した梶本一花選手をはじめ、200m平泳ぎの渡辺一平選手、400m個人メドレーの松下知之選手、400m個人メドレーの成田実生選手、200m自由型の村佐達也選手がそれぞれメダルを獲得されました。

厳しいトレーニングを長期間に亘り積み重ね、世界の舞台で成果を出されたことに心から敬意を表するとともに、湯の丸が世界を目指すアスリートにとってなくてはならない場所として更に評価が高まったものと感じております。

これからも東御市の地方創生における重要な地域資源としてGMOアスリートパーク湯の丸を国内外の多くのアスリートに活用していただくとともに、本市が持つポテンシャルを最大限に発揮し、市民の皆様が元気で輝き続けられる「活気に満ちた持続可能な美しいふるさとづくり」を推進してまいります。

このような状況の中、宿泊交流拠点施設整備事業に関し、内閣府へ申請を行ってございました「新しい地方経済・生活環境創生交

付金」につきましては、本日、国から事業採択の内示が行われる
予定です。

本市の地方創生に向け、重要な事業の一つであるとの強い想い
の下、引き続き職員一丸となって市政運営に取り組んでまいりま
す。

市民の皆様並びに議員各位におかれましては、今後とも格別な
るご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、本定例会招集
のあいさつといたします。

令和7年8月29日

東御市長 花岡 利夫